

全校の皆さん おはようございます

みなさん「おおきなかぶ」という話を知っていますか。
この前1年5組の人たちがとても上手に音読会を見せてくれたのです。
その音読会を見ながらこんなことを頭に思い浮かべました。
校長先生が、みんなに話をする機会はあまりありません。よく聴いてください

大きなかぶとは、なかなか抜けない大きなかぶを、おじいちゃんがおばあちゃんが孫が、・・・最後はネズミまで
が手伝って、かぶを抜くというお話です

抜けなくて困っているおじいさんを、みんなで手伝うこと、それは 「協力」 です
もしもこの大きなかぶに気持ちが宿っていて、「早く抜いて土の中から出してほしい」、と願っていれば、おじい
ちゃんやおばあちゃん、ネズミたちがしたことは、 「思いやり」 です
もしも、このかぶが、「抜かれたくない」「ここに居たい」「やめてほしい」と思っていたとすれば、おじいちゃん
たちみんなでしたことは 「いじめ」 になります。
いやがっているかぶを、抜こうとしている人たちのことを知っていながら何もしない人は 「いじめを許してい
る人」 なのです
いやがっているかぶを、抜こうとしている人たちのことを停めること、あかんのちゃうと思い、人の手助けを求
めること それが 「正義」 です
抜けないかぶに、くそ！と腹が立ったとしても、してはいけないことはしたらあかんのです

校長先生は、協力する姿を見たいです
かぶがいやがっているなら助けたいです
傷ついてたなら、大丈夫だよって支えて応援してあげたいです
夏休みも2学期も「かがやけ笑顔 心ときめき小学校」をめざします
周りのもの、周りの人の気持ちに気づける人、周りの物や人を傷つけない人になってください

黄色信号に気付いて止まる
交差点に気付いて自転車のブレーキを掛ける
危ないところだと気付いて近づかない
困っている人の気持ちに気付いてどうしたの？と優しい声をかける
痛がっている人に気付いて大丈夫？といたわる

すべては「気付く」ことから始まります
気付くことで「笑顔が輝く 心がときめく」夏休みにしてください
みんなが安全で、健康で、人に優しく過ごしてくれることを、心から、心の底から校長先生は願っています。
そんな人たちが集まる学校でないと「笑顔かがやくときめき小学校」になどなりません
9月、元気にみんなが登校してくれることを待っています
元気にみんなと会いたいです